

中世の中国地方有数の城下町

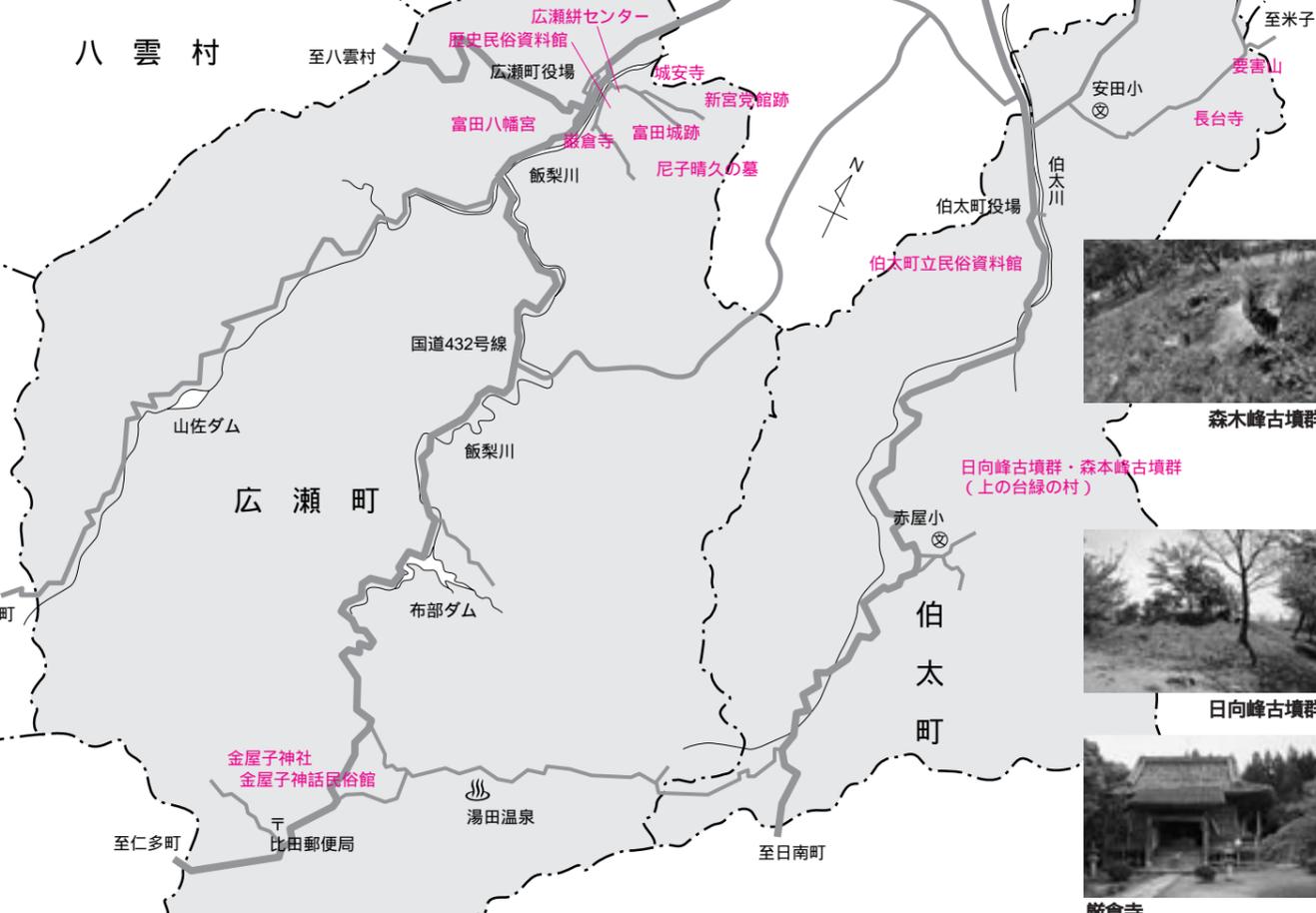
広瀬町・伯太町



要害山



尼子晴久の墓 飯梨川 富田八幡宮



金屋子神社 金屋子神話民俗館 長台寺 城安寺 新宮党館跡

杉並木が荘厳な雰囲気 富田八幡宮

富田八幡宮 富田町富田 指定・県・建造物(本殿) 広瀬の町並みの南、八幡山の中にある。100段あまりの石段を登ると200mの平坦な敷石が続き、まわりの杉・タブの巨木が荘厳さを漂わせている。本殿は流れ造りで、一部あざやかな彩色が施されていて県指定文化財。
<交通> J R荒島駅からバス20分 広瀬郵便局下車、徒歩5分
<連絡先> 0854-32-2654

無念の尼子晴久ここに眠る 尼子晴久の墓

尼子晴久の墓 富田町富田 月山の南、塩谷地区にある。尼子晴久を葬ったという宝篋印塔(供養塔)である。晴久は尼子経久の孫で、一時の8ヶ国の守護に補せられたが後を継いだ義久の代に毛利氏により滅亡させられた。まわりには家来たちの小さな墓がある。
<交通> J R荒島駅からバス20分 広瀬郵便局下車、徒歩20分

山陰の勇将をしのぶ城跡 富田城跡

富田城跡 富田町富田 富田側東岸、月山の山頂にある。広瀬町を代表する史跡。中国地方における代表的な中世城郭で、整備事業が進行中。標高は183mとさほど高くないが、周囲は峻険で天然の要害である。山頂から飯梨川に面する丘陵まで、多くの城の遺構が残っている。尼子氏の居城として知られ、眼下に広瀬の町が一望できる。関ヶ原の戦いののちは、堀尾吉晴が入城したが、1610年に松江に移ったため廃城になった。
<交通> J R荒島駅からバス20分 広瀬郵便局下車、徒歩30分

伝統技術を間近に見られる 広瀬緋センター

広瀬緋センター 富田町富田 指定・県・工芸技術 大柄の絵模様の特徴の広瀬緋。現在は、広瀬緋センターの中に伝習所があり、多くの愛好者が機織りに魅せられている。起

源は広瀬城下の町医者妻が1824年、米子で技術を学んで帰郷し、婦女子に伝えたことによる。10時から5時。水曜休館。入場無料。
<交通> J R荒島駅からバス20分 広瀬病院前下車、徒歩10分
<連絡先> 0854-32-2575

富田川の遺物を見る 広瀬町立歴史民俗資料館

広瀬町立歴史民俗資料館 富田町富田 富田城跡のふもと、飯梨川のほとりにある白亜のすっきりした建物で、研修室・ホール・展示室からなっている。分散していた町内の資料をまとめて展示してある。富田川河床の発掘調査で出土した遺物もある。10時から5時。水曜休館。大人206円、高大生103円、小中生30円。
<交通> J R荒島駅からバス20分 広瀬病院前下車、徒歩10分
<連絡先> 0854-32-2767

仏像と庭が美しい寺 城安寺

城安寺 富田町富田 指定・国重文・彫刻 月山の北側にある。石垣と山門が目印の寺。鎌倉時代の創建であるが、火災や水害によって寺地は転々とし1887年に現在の位置に移った。国指定の2つの像は、ヒノキの奇木造りで極彩色が施されている。庭は「雪舟つつし」と言われ、新緑や紅葉のころはとくに美しい。近くには松平直諒の墓や、尼子屋敷跡がある。
<交通> J R荒島駅からバス20分 広瀬病院前下車、徒歩15分
<連絡先> 0854-32-2633

苔むした石垣で当時を偲ぶ 飯倉寺

飯倉寺 富田町富田 指定・国重文・彫刻 月山富田城内にある真言宗の古いお寺。古い石垣の上に建ち、創建は726年と言われている。本尊の木造聖観音像は平安前期の刀法を伝える貴重なもので、脇侍の帝釈天立像とともに国の重要文化財に指定されている。周辺に、堀尾吉晴の墓や山中鹿介の墓がある。
<交通> J R荒島駅からバス20分 広瀬郵便局下車、徒歩10分
<連絡先> 0854-32-2933

豪傑の館 新宮党館跡

新宮党館跡 富田町富田 新宮谷の奥に館跡と小さな祠がある。新宮党は尼子氏の強力な一門であったが、毛利氏に謀られた尼子晴久によって1554年に滅ぼされた。1979年の発掘調査で館跡が確認され、陶磁器や将棋の駒などが出土している。
<交通> J R荒島駅からバス20分 広瀬病院前下車、徒歩30分

金属関連業者の信仰のメッカ 金屋子神社

金屋子神社 富田町西比田 古来からたたら製鉄七守護神として知られており、「金屋子さん」の名で親しまれ、全国各地の製鉄業者からの信仰が集まっている。社殿は19世紀後半の建築で、拝殿のケヤキの一枚戸の飾りには重厚豪華な彫り物が施されており、龍の彫刻はたびたび拝殿をゆさぶったと伝えられる。参道には大きな鏡(鉄のかたまり)と桂の古木がある。
<交通> J R安来駅からバス30分 西比田車庫下車、徒歩20分
<連絡先> 0854-34-0208

たたらにまつわる資料館 金屋子神話民俗館

金屋子神話民俗館 富田町西比田 たたらにまつわる暮らしや祭りの様子を展示や映像で紹介。館内にはいとまず大きな鏡(鉄のかたまり)が目に入る。奥のホールでは大型テレビによる鉄に関する映像を見ることができる。9時から5時。月曜休館。大人500円、小中生250円。
<交通> J R安来駅からバス30分 西比田車庫下車、徒歩20分
<連絡先> 0854-34-0700 <いにしえ> 1巻P35

家族でのハイキングに最適 要害山(新山城跡)

要害山(新山城跡) 伯太町安田間 鳥取県との県境の山頂にある中世山城跡で、大山・弓ヶ浜・中海とすばらしい眺望が眼下に広がる。古来からの出雲と伯耆の要所にあたる。城は尼子氏の家臣・福山綱信が居城していたが、

1565年毛利軍によって落城したという。山頂部には何段にも加工された跡が残っている。ハイキングコースとして整備されている。山頂の松を目指そう。
<交通> J R安来駅からバス20分 長台寺下車、徒歩20分

古寺の塔の跡も残る 長台寺

長台寺 伯太町安田間 天台宗の古いお寺で、行基の開創と伝えられる。徳川初期の母里藩主が現代の位置に再建。本尊は千手観音像で、延命長寿の観音として近郷の尊信を集めている。庭園内に岡の原廃寺の心礎石(塔の中心柱の土台となる石)がある。
<交通> J R安来駅からバス20分 長台寺下車、徒歩5分
<連絡先> 0854-37-0719

家族とレジャーついでに古墳見学 日向峰古墳群 森木峰古墳群

日向峰古墳群 森木峰古墳群 伯太町赤屋・横屋 伯太川をさかのぼった標高320mばかりの山の上に、公園、遊具やコテージなどの整備がされている上の台緑の村がある。この公園の中にある古墳群。よく見ると10mくらいの小高い高まりが随所にあるのがわかる。なかには横穴式石室を持つものや、小形ながら前方後円墳もある。周囲の景色は抜群で、なぜこんな高いところに古墳を造ったのか、古代人の心で考えてみよう。
<交通> J R安来駅からバス30分
<連絡先> 0854-38-0023(緑の村) <いにしえ> 3巻P22

伯太町の歴史資料はここ 伯太町民俗資料館

伯太町民俗資料館 伯太町西母里 伯太町出土の考古遺物や民具の数々、歴史資料や美術工芸品などを展示している。入館希望者は事前に伯太町教育委員会に連絡が必要。10時から4時。土・日曜、祝日、年末年始休館。入館無料。
<交通> J R安来駅からバス20分 伯太町役場入口下車、徒歩5分
<連絡先> 0854-37-1001(伯太町教育委員会)

おたっぴ情報

1666年のある日、大洪水によって一瞬にして富田川(飯梨川)の流れが大きく変わった。これにより中世以来栄えた城下町は1つきに飲み込まれ、現代も川の流れの下に眠っている。この一部が「富田川河床遺跡」として発掘調査され、城下町の繁栄ぶりを伝えてくれる。